

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数 又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
映像専門課程	映像学科（二年制） テレビ放送専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	映像学科（二年制） 映画専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	映像学科（二年制） 動画クリエイター専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	音楽総合学科（二年制） スタッフ専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	音楽総合学科（二年制） 音楽総合専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	音楽総合学科（二年制） ミュージシャン専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	パフォーミングアーツ学科（二年制） 俳優・女優専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	ダンス学科（二年制） ダンスパフォーマンス専攻ダンサーコース	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	ダンス学科（二年制） ダンスパフォーマンス専攻ダンスボーカルコース	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	写真学科（二年制） クリエイティブフォト専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	写真学科（二年制） カメラマン専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	写真学科（二年制） 写真表現専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	マスコミ出版・芸能学科（二年制） 出版編集専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	マスコミ出版・芸能学科（二年制） エンターテインメントプロデュース専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	特殊メイク学科（二年制） 特殊メイク専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	特殊メイク学科（二年制） 映像・舞台メイク専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	特殊メイク学科（二年制） 特殊造形専攻	夜・通信	1800 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

〒102-0081 東京都千代田区四番町 11 1 階事務局にて希望者に閲覧
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HP掲載の事業報告書9ページに記載

<https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r6/R6事業活動報告書.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	独立行政法人プロジェクトリーダー（現職）	2025年5月30日～ 2029年定時評議員会 終結時	ガバナンスの強化
非常勤	大学教授（現職）	2025年5月30日～ 2029年定時評議員 会終結時	ガバナンスの強化
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー
設置者名	学校法人21世紀アカデメイア

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
毎年度、各授業の半期(前期・後期)ごとに担当教員が授業計画書(シラバス)を作成し、目的、概要、担当講師、各週の授業内容等を設定、前期は4月、後期は10月より本校1階事務局にて公開。	
授業計画書の公表方法	〒102-0081 東京都千代田区四番町11 1階事務局にて希望者に閲覧
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
各学年の半期(前期・後期)ごとに、出席率及びレポート・課題提出、筆記試験、課題発表(進級作品・最終制作作品の制作含む)により評価し、単位を付与する。成績評価は上から順にA・B・C・Dで評価し、C以上に単位を付与、Dは単位を付与しない。出席率が75%未満の者には単位を付与しない。実習授業の評価は、課題作品の評価等で決定し、C以上に単位を付与する。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
A・B・C・Dの評価のうち、A=5、B=3、C=1、D=0に換算。 $GPA = (A \text{ の単位数} \times 5 + B \text{ の単位数} \times 3 + C \text{ の単位数} \times 1) \div \text{履修単位数}$ により算出し、各学年・学科ごとに分布表を作成する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	掲載： https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/H30TVAtani.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミーは、専門技術と豊かな教養を身に着けた健全な文化人の育成を目的としている。 卒業要件については、定められた期日までに下記の基準を満たすことを定めている。 ・ 110 単位以上の取得 ・ 75%以上の出席 ・ 学費の完納 ・ 貸借物の返却 ・ 日本学生支援機構貸与型奨学金の返還手続きの完了 基準に満たず卒業保留となったものに対しては、「卒業保留者カウンセリング」を実施し、課題などの指示により卒業へのサポートを行う。 卒業不可者のうち、次年度学費を納めたものについては留年とする。 詳細は学則総則、学習案内等に記載。卒業要件はホームページにて公表。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	掲載： https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/H30TVAsotugyo.pdf

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー
設置者名	学校法人 21世紀アカデメイア

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r6/R6_貸借対照表.pdf
収支計算書又は損益計算書	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r6/R6_損益計算書.pdf
財産目録	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r6/R6_財産目録.pdf
事業報告書	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r6/R6_事業活動報告書.pdf
監事による監査報告（書）	最新情報を HP にて公表している。 https://www.akademeia21.com/assets/pdf/r6/R6_監査報告書.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
分化・教養		映像専門課程	映像学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			450 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,350 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
2年	昼	1650 単位時間/単位	1,800 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		162人	39人	3人	33人	36人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照
学修支援等
（概要）
・個人面談やホームルームにより学生生活をサポート。 ・スクールカウンセラーを配置し、学生の心のケアを行なう。 ・キャリアサポートをする職員を配置し、学生の進路相談を随時行なう。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
104人 （100%）	7人 （6.7%）	72人 （69.2%）	25人 （24.0%）
（主な就職、業界等）			
番組制作会社・制作技術会社・照明会社・音声音響会社・編集会社・映画制作に関わる企業・助監督、制作デスク、アシスタントディレクター、撮影助手、録音助手、照明助手・映像編集・映像製作 ほか			
（就職指導内容）			
個別面談・校内説明会・ホームルーム・就職サポートゼミ・業界EXPO など			
（主な学修成果（資格・検定等））			
JPPA 映像音響処理技術者資格認定・色彩検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
208人	21人	10.1%
（中途退学の主な理由）		
身心の健康に関する事情、モチベーションの低下、家庭の事情 ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組）		
・担任による面談等のサポート活動 ・定期的な行事や教育イベントの実施によるモチベーション維持		

・経済状況に合わせた学費延分納対応 ほか							
分野		課程名		学科名		専門士	高度専門士
分化・教養		映像専門課程		音楽総合学科		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1 6 5 0 単位時間 / 単位	420 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	1,380 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			1,800 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
2 4 0 人		1 3 6 人	1 0 人	3 人	3 5 人	3 8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
学修支援等	
（概要） ・個人面談やホームルームにより学生生活をサポート。 ・スクールカウンセラーを配置し、学生の心のケアを行なう。 ・キャリアサポートをする職員を配置し、学生の進路相談を随時行なう。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 2 人 （1 0 0 %）	1 人 （1 . 9 %）	4 6 人 （ 8 8 . 5 %）	5 人 （ 9 . 6 %）
（主な就職、業界等） 音響会社・照明会社・コンサート制作・ライブハウス・音楽事務所（レッスン生、バンド活動含む）・ レコーディングスタジオ・ポストプロダクション ほか			
（就職指導内容） 個別面談・校内説明会・ホームルーム・就職サポートゼミ・業界 EXPO など			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・JPPA 映像音響処理技術者資格認定・国家検定 舞台機構調整技能士試験 3 級 ・JAPRS サウンドレコーディング技術認定・JAPRS ProTools 技術認定 ・照明家協会 照明技術者技能認定試験 2 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 4 4 人	2 1 人	1 4 . 6 %
（中途退学の主な理由） 身心の健康に関する事情、モチベーションの低下、家庭の事情 ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・担任による面談等のサポート活動 ・定期的な行事や教育イベントの実施によるモチベーション維持 ・経済状況に合わせた学費延分納対応 ほか		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
分化・教養		映像専門課程	パフォーミングアーツ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1650 単位時間/単位	210 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,590 単位時間 /単位
			1,800 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		27人	1人	1人	13人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
学修支援等	
（概要） ・個人面談やホームルームにより学生生活をサポート。 ・スクールカウンセラーを配置し、学生の心のケアを行なう。 ・キャリアサポートをする職員を配置し、学生の進路相談を随時行なう。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 （100%）	0人 （%）	5人 （83.3%）	1人 （16.7%）
（主な就職、業界等）			
所属タレント/所属声優/劇団員（養成所生含む）/アイドル/ミュージカル俳優/アクション俳優 ほか			
（就職指導内容）			
個別面談・校内説明会・ホームルーム・就職サポートゼミ・学内オーディションなど			
（主な学修成果（資格・検定等））			
特になし			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	1人	5.3%
（中途退学の主な理由）		
身心の健康に関する事情、モチベーションの低下、家庭の事情 ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組）		
・担任による面談等のサポート活動 ・定期的な行事や教育イベントの実施によるモチベーション維持 ・経済状況に合わせた学費延分納対応 ほか		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士		
分化・教養		映像専門課程	ダンス学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1650 単位時間／単位		240 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1,560 単位時間 ／単位
				1,800 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		52人	2人		1人	35人	36人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
卒業・進級の認定基	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
学修支援等	
（概要） ・個人面談やホームルームにより学生生活をサポート。 ・スクールカウンセラーを配置し、学生の心のケアを行なう。 ・キャリアサポートをする職員を配置し、学生の進路相談を随時行なう。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 （100％）	0人 （ 0％）	18人 （90％）	2人 （ 10％）
（主な就職、業界等） 事務所所属ダンサー・ダンスインストラクター・ショーダンサー・登録ダンサー ・ダンスパフォーマー・チアダンサー ほか			
（就職指導内容） 個別面談・校内説明会・ホームルーム・就職サポートゼミ・学内オーディションなど			
（主な学修成果（資格・検定等）） 特になし			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61人	5人	8.2％
（中途退学の主な理由） 身心の健康に関する事情、モチベーションの低下、家庭の事情 ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・担任による面談等のサポート活動 ・定期的な行事や教育イベントの実施によるモチベーション維持 ・経済状況に合わせた学費延分納対応 ほか		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士		
分化・教養		映像専門課程	写真学科		○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	1650 単位時間/単位		300 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,500 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
				1,800 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
240人		129人	60人		3人		21人		24人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
学修支援等	
（概要） ・個人面談やホームルームにより学生生活をサポート。 ・スクールカウンセラーを配置し、学生の心のケアを行なう。 ・キャリアサポートをする職員を配置し、学生の進路相談を随時行なう。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
54人 （100％）	6人 （11.1％）	38人 （70.4％）	10人 （18.5％）
（主な就職、業界等） 撮影スタジオ・出版スタジオ・営業写真館・子供写真館 ほか			
（就職指導内容） 個別面談・校内説明会・ホームルーム・就職サポートゼミ・業界EXPO など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 特になし			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
132人	21人	15.9％
（中途退学の主な理由） 身心の健康に関する事情、モチベーションの低下、家庭の事情 ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・担任による面談等のサポート活動 ・定期的な行事や教育イベントの実施によるモチベーション維持 ・経済状況に合わせた学費延分納対応 ほか		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
分化・教養		映像専門課程		マスコミ出版・芸能学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	1650 単位時間／単位		300 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1,500 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
				1,800 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
160人		82人	5人	2人		12人		14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
学修支援等	
（概要） ・個人面談やホームルームにより学生生活をサポート。 ・スクールカウンセラーを配置し、学生の心のケアを行なう。 ・キャリアサポートをする職員を配置し、学生の進路相談を随時行なう。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 0 人 (1 0 0 %)	0 人 (%)	3 5 人 (7 0 %)	1 5 人 (3 0 %)
（主な就職、業界等） 雑誌編集者・ライター・エディトリアルデザイナー・グラフィックデザイナー・タレントマネージャー・イベントスタッフ・芸能事務所スタッフ ほか			
（就職指導内容） 個別面談・校内説明会・ホームルーム・就職サポートゼミ・業界 EXPO など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 特になし			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 0 0 人	3 人	3 %
（中途退学の主な理由） 身心の健康に関する事情、モチベーションの低下、家庭の事情 ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・担任による面談等のサポート活動 ・定期的な行事や教育イベントの実施によるモチベーション維持 ・経済状況に合わせた学費延分納対応 ほか		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
分化・教養		映像専門課程	特殊メイク学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1 6 5 0 単位時間／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1,800 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
8 0 人		6 1 人	8 人	2 人	2 2 人	2 4 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）様式第2号の3に記載した内容を参照	
学修支援等	
（概要） ・個人面談やホームルームにより学生生活をサポート。 ・スクールカウンセラーを配置し、学生の心のケアを行なう。 ・キャリアサポートをする職員を配置し、学生の進路相談を随時行なう。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 （100%）	0人 （%）	20人 （90.9%）	2人 （9.1%）
（主な就職、業界等） 造形製作・特殊メイクアップ・映像メイク・床山 ほか			
（就職指導内容） 個別面談・校内説明会・ホームルーム・就職サポートゼミ・業界EXPO など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・担任による面談等のサポート活動 ・定期的な行事や教育イベントの実施によるモチベーション維持 ・経済状況に合わせた学費延分納対応 ほか		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
映像学科	200,000 円	980,000 円	280,000 円	※その他内訳 出願料、施設費 ※下記の代理徴収項目を除く 校友会費、学生障害保険
音楽総合学科	200,000 円	980,000 円	280,000 円	
パフォーミングアーツ学科	200,000 円	980,000 円	280,000 円	
ダンス学科	200,000 円	980,000 円	280,000 円	
写真学科	200,000 円	980,000 円	280,000 円	
マスコミ出版・芸能学科	200,000 円	980,000 円	280,000 円	
特殊メイク学科	200,000 円	980,000 円	280,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）		
前年度評価についてHPにて公開している		
https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R6TVAevaluation_a.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者評価委員会は、企業委員等、卒業生から構成され、自己評価項目を学校関係者評価委員により評価を実施する。評価項目等（教育目標、学校運営、教育活動等）について、関係者評価結果をもとに継続的に改善を図っている。		
※評価項目		
教育理念、目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、生徒募集、財務、法令等の遵守、社会貢献、地域貢献、国際交流		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ウエストゲート	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業
クリエイター（フリーランス）	令和5年4月1日～令和7年3月31日	卒業生
株式会社メイクアップディメンションズ	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等委員
クリエイター（フリーランス）	令和5年4月1日～令和7年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）		
前年度評価についてHPにて公開している		
https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R6TVAevaluation_b.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
http://www.tva.ac.jp/school/

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113310100090
学校名（〇〇大学 等）	専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人21世紀アカデメイア

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		77 人 （-人）	66 人 （-人）	63 人 （-人）
内 訳	第Ⅰ区分	40 人	35 人	
	（うち多子世帯）	（-人）	（-人）	
	第Ⅱ区分	16 人	14 人	
	（うち多子世帯）	（-人）	（-人）	
	第Ⅲ区分	18 人	13 人	
	（うち多子世帯）	（-人）	（-人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0 人	0 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	- 人	- 人	
	区分外（多子世帯）	0 人	0 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0 人 （0人）
合計（年間）				0 人 （0人）
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0 人	0 人	- 人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0 人	0 人	- 人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0 人	0 人	- 人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0 人	0 人	- 人
計	0 人	0 人	- 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0 人	後半期	- 人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	-人
3 月以上の停学	0人
年間計	-人
	0

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	-人	12人
GPA等が下位4分の1	0人	-人	-人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	-人	12人
計	0人	-人	12人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。